

全教職
員向け

体罰・暴言0（ゼロ）へ！

2学期スタート！体育祭練習真っ最中＋部活動新体制始動

体罰(不必要な身体接触を含む)や暴言(冗談の中での不適切な言動を含む)を「児童生徒にとって必要」「指導方法の1つ」「児童生徒とのコミュニケーション」等という思い込みをしていませんか。

自分の指導を振り返ってチェックしてみましょう！

- 指導したことが伝わらず、冷静さを欠き、感情的・衝動的に接していないか。
- 不必要・不適切な身体接触や児童生徒の人権を無視した発言を行っていないか。
- 児童生徒の成長より、結果やメンツにこだわって、過度の負荷をかけた練習等を強いていないか。
- 指導困難な児童生徒への対応は、校内の共通理解に基づいて行っているか。
- 体罰や暴言等、不適切な指導を見聞きした場合は、速やかに管理職に報告・連絡・相談するという認識をもっているか。

こんなことが起きないように…

- 授業中、トイレに行かせなかったり、宿題を何度も忘れる児童を正座させたりする。
- 授業中、「あほかー」「キモっ」「ウザっ」等、人格を否定する言葉を冗談半分の軽い気持ちで発する。
- 文化祭の練習時に、頑張らせるために生徒の後頭部を叩く。
- 部の雰囲気や緩んでいるときに、生徒にボールをぶついたり、「できないのなら、やめてしまえ！」と叱責したりする。

管内でも、ヒヤリ・ハット事例が起きています。

2学期スタートのこの時期、再度、学校全体、学年団等で、「体罰・暴言0」に向けた話し合いと具体的な取組を進めてください。